

V 重要政策の方向性

1 危機に強い安全・安心な地域づくり



背景・課題

新型コロナウイルス等の感染症を始め、南海トラフ地震の発生や気候変動による風水害の激甚化といったリスクの増大が想定される。いかなる危機に直面しても被害を防止又は最小限に抑え、県民の生命・財産を守るとともに、速やかに社会経済活動を再開し、我が国の発展を力強くリードしていくことができる危機に強い地域づくりが求められる。また、交通事故や犯罪被害、消費者トラブルなど日常生活に潜むリスクに的確に対応し、誰もが安心して暮らせる地域をめざしていくことが重要である。

【進捗管理指標】 事業継続計画を策定している中小企業割合、交通事故死者数 等

◆新型コロナウイルス感染症の克服

- 社会経済活動の維持にも配慮した感染症の拡大防止、国や近隣県、市町村、医療関係者等と連携協力した対策の推進



PCR検査

◆新たな大規模感染症リスク等への対応

- 感染症や大規模テロ、武力攻撃などリスクに応じた危機管理体制の充実
- 新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえた大規模な感染症リスクに強い地域づくり



国民保護共同実動訓練

◆ハード・ソフト両面からの防災・減災対策

- 住宅や建築物の耐震化の促進、社会インフラの耐震性強化や津波対策など南海トラフ地震対策の推進
- 頻発・激甚化する風水害へのハード・ソフト一体となった対策の推進
- 広域的な防災活動拠点等の大規模災害に備えた体制強化と迅速な復旧・復興に向けた取組
- 高齢者や外国人等の要配慮者の増加など地域の実情に応じた防災教育・防災訓練の強化 等

◆安心して暮らせる地域づくり

- 高齢者や子どもなど交通弱者への交通安全対策の強化
- 自主防犯団体の設立促進・活動支援など地域防犯力の強化 等



自転車安全利用出張講座

2 次代を創る人づくり



背景・課題

AIやIoT、ロボットなど技術革新の急速な進展による社会経済や産業構造の大きな変化が見込まれる。また、障害のある人の社会参加の拡大や外国人県民の更なる増加などを背景に多様な人々を受け入れられる社会が益々求められていく。そのため、次代を担う子どもたちには、多様な価値観を認め合い、意見を交わしながら、自分の可能性を最大限に高めて、次の時代を拓いていく力が求められる。

【進捗管理指標】 授業中にICTを活用して指導できる公立学校の教員の割合、英検準2級以上又はそれ相当の英語力を有する県立高校3年生の割合 等

◆創造性を伸ばす教育の推進

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善等を通じた未来を生き抜く力の育成
- 大学等との連携や専門的な知識を持つ支援員による教材開発・授業支援などを通じたSTEAM教育の推進
- 道徳教育やキャリア教育を通じた道徳性や社会性など学力以外の資質や能力の育成

◆グローバル人材の育成

- 質の高い英語教育や興味・関心を高めるイベント等による英語コミュニケーション能力の育成
- 高校生の海外インターンシップや短期留学、ボランティア活動などを通じた異文化理解の促進



イングリッシュキャンプ

◆多様性を尊重する教育の推進

- 学校教育の場等を通じた多様性に対する理解の促進
- 特別支援学校の環境整備による障害のある幼児児童生徒への支援の強化
- 多言語化する外国人児童生徒に対応するための教員等の配置や教員等の研修の充実、キャリア教育の充実など切れ目ない支援 等

◆魅力ある学校づくり

- ICT化の進展に対応した教育環境等の充実
- 授業研究成果を活かした教員研修や学校における働き方改革などによる質の高い教育の提供
- 社会や生徒のニーズを踏まえた学科改編やコースの改善、地域社会との連携・協働による特色ある学校づくり



ICTを活用した授業

3

すべての人が生涯にわたって活躍できる社会づくり



背景・課題

平均寿命が延伸し、100歳を迎えることも珍しくなくなっていく中、少子高齢化の進行により、生産年齢人口が減少し、労働力不足の深刻化が見込まれる。持続可能な社会を実現し、「人生100年時代」を豊かなものとするためには、お互いの人格や価値観、多様な文化を認め合う寛容さを持ちながら、性別や年齢、国籍、障害の有無に関わらず、すべての人々が参画し、生涯にわたって活躍できる社会づくりを進めていく必要がある。

【進捗管理指標】 労働力率、管理的職業従事者に占める女性の割合 等

◆女性の活躍促進

- 活躍の場の拡大と職場定着の促進
- 起業・再就職の支援



あいち女性起業家・経営者支援プログラムCOMPASS

◆高齢者の社会参加の促進

- 就労、ボランティア活動などを通じた社会参加の促進



中高年齢離職者再就職支援セミナー

◆若者や就職氷河期世代などへの支援

- 若者などの円滑な就業と職場定着への支援
- 官民一体での就職氷河期世代の活躍支援

◆外国人県民の活躍促進

- 日本語教育の充実と地域への早期適応の推進
- 定住外国人の就労支援など外国人県民の労働環境の整備

◆健康長寿

- ライフステージに応じた健康づくりや良好な生活習慣づくり、企業の健康経営の促進

◆障害のある人の活躍支援

- 就労から職場定着までの支援を通じた雇用の促進
- 文化芸術活動やスポーツ活動などへの支援 等

◆人生100年時代の学び直し

- 多様な主体と連携したICT教育などのリカレント教育や高等技術専門学校での職業訓練の推進
- 大学と地域が連携した一般向け講座やシルバーカレッジなど地域活動につながるような多様で実践的な学びができる生涯学習の推進



4

安心と支え合いの社会づくり



背景・課題

地域社会における担い手不足が深刻化することで、自治会など地域コミュニティを支える仕組みの弱体化が想定される。そうした中、ひとり親家族は依然として多く、非正規雇用は増加傾向にあることに加え、ICT化の進展の一方で、情報格差が問題となるなど、様々な面での格差が拡大するリスクが高まっている。また、未婚化・晩婚化などによる少子化の進行や増加する高齢単身世帯の社会的孤立も懸念される。そのため、不安を抱え、支援を必要とする誰もが地域とつながりを持ちながら住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる社会をつくっていくことが重要である。

【進捗管理指標】 平均理想子ども数と平均予定子ども数の差、健康寿命 等

◆ 出会いから結婚、妊娠・出産、子育てまで切れ目のない支援

- 出会いの機会の創出など結婚支援
- 不妊治療への助成や周産期医療体制の充実など妊娠・出産支援
- 子育て家庭への支援の充実や家庭訪問型の支援の拡大などによる地域の子育て支援力の向上

◆ 障害のある人の地域生活と医療・療育の支援

- 地域生活への支援
- 民間の重症心身障害児者施設の整備促進など地域の医療・療育支援体制の強化

◆ 安心できる医療体制の構築

- 愛知県地域医療構想の推進によるバランスのとれた医療提供体制の構築
- 愛知県地域医療支援センターを中心とした医師確保やキャリア形成の支援などによる地域医療の充実

◆ 困難を抱える女性・子ども・若者などへの支援

- 児童相談センターの体制強化など児童虐待の防止対策の強化
- ひとり親家庭への支援や子ども食堂の充実など子どもの貧困対策の推進
- 社会とつながりを持つことが困難な子ども・若者への支援 等

◆ 地域包括ケアシステムの構築支援

- 地域包括ケアシステムの構築など高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくり
- あいちオレンジタウン構想に基づく認知症施策の推進
- 介護の仕事の魅力発信や研修支援など介護人材の確保・育成

◆ 外国人県民の生活支援

- 生活に関わる相談支援や乳幼児期から老年期までの各ライフステージに応じた生活支援の充実



あいち多文化共生センターにおける相談対応の様子



子ども虐待防止のシンボルマーク「オレンジリボン」

5

豊かな時間を生み出す働き方が
可能な社会づくり

背景・課題

少子高齢化の進行により、生産年齢人口は減少を続け、労働力不足の深刻化が見込まれる。加えて、共働きの増加、定年延長などにより、地域コミュニティや社会貢献活動の担い手不足が更に顕在化していく。また、働き方のニーズが多様化する一方、新技術を活用した働き方の大きな変化が進んでいくことが見込まれる。そのような中、一人一人が人生を豊かに過ごしつつ、職場・家庭・地域などで複数の役割を担える社会を実現していくため、新技術を活用しながら、生産性を向上させるとともに、長時間労働の是正などを図り、個々人の意欲や能力を十分に発揮できる働き方を促進していくことが重要である。

【進捗管理指標】 中小企業のテレワーク導入率、一般労働者の年間総実労働時間数 等

◆新技術を活用した効率的な働き方の促進

- ICTなどを活用したテレワークの普及促進
- 新技術を活用した省力化や無人化の促進
- MaaSや自動運転の社会実装の推進などによる移動の効率性向上
- ICTを活用した行政手続等のオンライン化の推進



◆多様で柔軟な働き方の促進

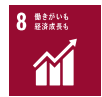
- テレワークや兼業・副業等の働き方を柔軟に選択できる環境づくり
- シェアオフィスやコワーキングスペースの活用の周知など住居と職場とが近接した働き方の促進
- 希望する地域で働ける環境づくり

◆ワーク・ライフ・バランスの更なる普及拡大

- 労働団体、経済団体等と連携したワーク・ライフ・バランスの気運醸成
- 子育て・介護と仕事との両立などの支援



「愛知県内一斉ノー残業デー」街頭啓発活動



6

イノベーションを巻き起こす 力強い産業づくり



背景・課題

今後、第4次産業革命の進展に伴って、産業構造の大きな変化が見込まれる。そうした中で、本県の強みを活かし、産業の活力を更に強化することにより、日本の成長をリードしていくことが重要である。そのため、自動車産業を始め、農業や商業などあらゆる産業において、イノベーションを巻き起こす力強い産業づくりを推進していくことが求められる。

【進捗管理指標】 研究開発費の全国シェア、農業産出額 等

◆ステーションAiを中核とした 国際的なイノベーション創出拠点の形成

- 日本最大級のスタートアップ支援拠点ステーションAiを中核とした戦略的なスタートアップの創出・育成
- 海外のスタートアップ支援機関・大学との連携促進



「ステーションAi」早期支援拠点

◆中小・小規模企業の持続的発展と 生産性の向上

- デジタル技術等の導入、新分野進出・販路開拓、技能人材等の育成など企業力の強化、魅力の発信、円滑な事業承継などの支援
- 繊維や窯業、伝統的工芸品など地場産業の持続的な発展

◆スマート農林水産業等による生産力の強化

- 先端技術を活用したスマート農林水産業等の新技術・新品種の開発と普及
- 準備段階から経営開始後までの一貫した支援による人材の確保・育成
- 農地の大区画化・汎用化や干潟・浅場、魚礁漁場などの生産基盤の整備 等

◆次世代産業の振興

- CASE・MaaS等の潮流を的確に捉えた自動車産業の振興
- あいち・なごやエアロスペースコンソーシアムを核とした航空宇宙産業の振興
- あいちロボット産業クラスター推進協議会を核とした新たな技術・製品の創出、ロボット競技会の実施による人材の創出
- 知の拠点あいち、新あいち創造研究開発補助金等を活用した研究開発機能の強化 等

◆産業人材の育成・確保

- DXやグローバル化への対応に向けたデジタル人材を始めイノベーションを生み出す人材の育成・確保
- 工科高校等における技術革新に対応できる人材の育成 等

◆県産農林水産物の需要拡大

- 県産農林水産物のブランド化
- 商談会等への出展支援による輸出促進や国内需要の拡大 等



あいち花マルシェ2020

7

世界とつながる
グローバルネットワークづくり

背景・課題

人口減少により国内市場が縮小していく一方で、世界経済は多極化しながら、アジアへその重心を移していく。そこでは富裕層が急増し、巨大な市場が形成される。そのような中で、本県の産業が今後も力強く発展し、日本の成長をリードしていくためには、アジアを始め世界から、企業や人材、資本、情報を呼び込み、新たな投資や取引機会の拡大に取り組んでいくことが求められる。

【進捗管理指標】 国際会議の開催件数、外国企業の誘致件数 等

◆Aichi Sky Expoの活用などによるMICEの
誘致・開催と国際観光都市の実現

- 国際見本市、国際会議等の戦略的な誘致
- MICEを核とした国際観光都市の実現



愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)

◆アジア競技大会を活用した戦略的な
ネットワークづくり

- 新たなネットワークづくりを通じたアジアにおける本県産業の存在感の強化

◆グローバル市場の更なる獲得と
海外からの投資促進

- 海外産業情報センターやサポートデスク等による県内企業の海外展開や販路開拓への支援
- グレーター・ナゴヤ・イニシアティブ協議会(GNIC)やジェットロ等との連携による外国企業の誘致促進・海外からの投資促進

◆海外からの人材獲得

- 留学生の受入れ拡大と県内企業への就職に向けた支援など留学生の活躍促進
- 高度な技術や専門的知識を有する外国人材の受入れの促進
- 国家戦略特区の特例等を活用した外国人の創業支援



留学生の企業見学ツアー

◆海外とのパートナーシップの構築

- 友好・協力関係にある国・地域の拡大と関係深化
- 海外の大学等との連携・協力関係の構築



愛知県・ビクトリア州・江蘇省友好提携40周年記念フェスティバル開会式

8

スーパー・メガリージョンの センターを担う大都市圏づくり



背景・課題

リニア中央新幹線の全線開業に伴い、三大都市圏が約1時間で結ばれて一体化する、スーパー・メガリージョンの形成が期待される。本県は、三大都市圏の中心に位置する優位性を最大限に活かし、モノづくり産業の集積地としての強みを伸ばして日本の成長をリードするとともに、首都圏の持つ社会経済的な機能を代替しうる中京大都市圏の形成に取り組んでいくことが求められる。一方、人口減少・高齢化、社会インフラの高齢化が本格化する中、大都市圏を構成する県内各地域においては、地域の特性を活かしつつ、先端技術を活用して持続可能で利便性の高いスマートな地域づくりを推進していくことが求められる。

【進捗管理指標】 企業の本所(本社・本店)の数の全国シェア、労働力人口の全国シェア 等

◆中京大都市圏の拠点性の向上

- リニア中央新幹線の整備促進と開業効果の広域的な波及
- 広域幹線道路ネットワークの整備
- 自動運転技術を活用したモビリティサービスやMaaS等の社会実装の推進などによるモビリティ先進県の実現
- 中部国際空港の二本目滑走路の整備促進と利用圏の拡大、県営空港のコミューター航空やビジネス機の拠点化の推進
- 名古屋港を始めとする港湾の機能強化
- 首都圏の社会経済的な機能を代替しうる高次都市機能等の集積の促進
- 多核連携型の圏域構造の維持・発展
- 中部国際空港島及びその周辺地域のスーパーシティ化



リニア中央新幹線(L0系改良型試験車)(JR東海提供)

◆交流圏の拡大に向けた戦略的広域連携

- 北陸・中京新幹線も視野に入れた鉄道アクセス向上などによる北陸圏との連携強化
- 東海道新幹線を活かした東西連携の拡大
- 三遠南信地域における県境を越えた連携の推進

◆持続可能でスマートな地域づくり

- 地域特性に応じ、次世代通信網と先端技術を活用したスマートなまちづくりの推進
- 商店街・中心市街地の活性化
- ICTの活用などによる効率的な県有施設・社会インフラの維持管理・更新、運用



中部国際空港(中部国際空港(株)提供)

9 選ばれる魅力的な地域づくり



背景・課題

今後、ジブリパーク、アジア競技大会、リニア中央新幹線といった世界の注目を集める数多くのビッグプロジェクトが控えている。この好機に、愛知ならではの魅力を活かした観光を推進するとともに、国内旅行者やアジア諸国を始めとした訪日外国人旅行者の呼び込みを一層強化し、地域の活性化に結びつけていくことが求められる。また、新型コロナウイルス感染症の流行を契機に、ゆとりある生活環境への志向が高まる中、居住地として選ばれる地域をめざしていくことが必要である。

【進捗管理指標】 観光消費額、愛知県の転出入者数(社会増減数) 等

◆ジブリパークを活用した圏域全体のプロモーションの展開

- ジブリパークの整備と開業に向けた気運醸成、ジブリパークを活かした地域の魅力向上・活性化



©Studio Ghibli
ジブリパークのイメージ 「ジブリの大倉庫エリア」

◆アジア競技大会始め国内外から注目されるスポーツ大会の開催

- アジア競技大会の開催とレガシーの活用
- 愛知県新体育館の整備と国際的なスポーツ大会の招致・育成

◆観光交流拠点としての機能強化、人材育成

- アジア地域を始めとした訪日外国人旅行者の受入れ促進・受入れ環境の整備、広域観光の推進
- 観光関連産業を担う中核人材の育成、観光イノベーションの創出、旅行スタイルの変化への対応と観光コンテンツの高付加価値化

◆世界に向け創造・発信する文化芸術の振興

- 国際芸術祭を始めとした愛知発の文化芸術の育成・発信
- 伝統芸能や文化財の継承・発展



「あいちトリエンナーレ2019」の展示風景
ウゴ・ロンディノーネ《孤独のポキャブラリー》2016 Photo: Tetsuo Ito

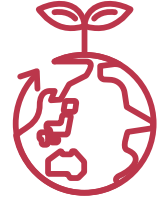
◆愛知ならではの観光の推進

- 歴史・文化遺産や産業、自然、食文化、ポップカルチャーなど愛知ならではの魅力の向上と効果的なPR・プロモーションの展開

◆居住地として選ばれる魅力の創造・発信

- 「愛知の住みやすさ」の向上と効果的な発信
- 民間活力の導入等による県営公園等の魅力向上と利活用促進
- 県内大学の活性化と魅力発信
- 山間地域・離島における関係人口の創出・拡大、移住・定住の促進

10 持続可能な地域づくり



背景・課題

2015年に採択されたパリ協定を契機に、世界における地球温暖化対策の取組がより加速していくことが見込まれる。また、開発や気候変動などによる生態系への影響が懸念されるとともに、途上国における急速な都市化と人口増加に伴う大量生産・大量消費による世界的な廃棄物の増加や、食料、資源の獲得競争の発生が懸念される。こうした中、環境への率先的な取組を原動力に、経済や社会を統合的に向上させ、SDGsの達成に大きく貢献する「環境首都あいち」を実現し、持続可能な地域づくりを目指していくことが求められる。

【進捗管理指標】 温室効果ガスの総排出量の削減率、SDGsの理解度 等

◆脱炭素社会を見据えた地球温暖化対策の推進

- 環境に配慮した建築物の普及など徹底した省エネルギーの促進
- 再生可能エネルギー等の導入拡大と地産地消の推進
- 環境・新エネルギー産業の振興とESG投資の呼び込み
- 気候変動に対する適応策の計画的・効果的な推進、愛知県気候変動適応センターを核とした情報発信



温暖化対策に資する賢い選択を実践する県民運動「あいちCOOL CHOICE」統一ロゴマーク

◆循環型社会づくり

- 地域のポテンシャルを活かした資源循環モデルの展開など、循環経済の考え方も踏まえた地域循環圏づくりの推進
- 食品ロス削減を始め3Rの推進等を通じた持続可能な資源利用の促進
- 排出事業者責任の徹底など廃棄物の適正処理に向けた取組

◆人と自然との共生の実現

- 「生物多様性主流化の加速」と「生態系ネットワークの形成」による生物多様性保全に向けた取組の推進
- あいち森と緑づくり税の活用などによる森林の整備や都市緑化の推進
- 海域環境の保全・再生に向けた取組



「あいち森と緑づくり事業」による民有地緑化の例

◆持続可能な社会を支える人づくり

- 各世代に応じた環境学習の拡充など「環境首都あいち」の実現とSDGsの達成に向けた行動する人づくりの推進
- エシカル消費の普及啓発などを通じた持続可能な社会の形成に貢献する消費者の育成



環境学習施設「もりの学舎」での自然体験型学習

VI 地域別の取組方向

多核連携型の圏域構造を持つ本県においては、人口構造、産業構造、交流基盤などの状況が地域によって異なっており、本編で示した「2040年頃の社会経済の展望」も、それぞれ地域特性に応じた特徴を持つものと考えられる。

そこで、この「地域別の取組方向」では、木曾川・矢作川・豊川の3つの河川を軸として、歴史、文化、生活、産業経済等の強い結びつきを持つ、尾張・西三河・東三河の3つの地域ごとに、各地域が持つ特色や、社会経済の展望を踏まえながら、「めざすべき将来像」を示していく。

さらに、各地域の「めざすべき将来像」の実現に向けては、地域の潜在力や可能性を最大限高めるような政策を総合的に展開していく必要があるため、県民生活、産業経済、広域交通・交流、防災・環境といった分野ごとに「地域づくりの方向性」を示した上で、「主な政策」を示していく。

なお、少子高齢化や人口減少が大きく進んでいる三河山間地域や三河湾の離島については、豊かな自然を始め魅力的な観光資源を有するとともに、県土の保全、水源のかん養、自然環境の保全等の多面にわたる機能を有している。こうした地域を支え、活性化していく取組についても示していく。



尾張地域

地域の特色と将来展望

- 県全体の約7割の人々が暮らす地域であり、今後、人口減少・高齢化がゆるやかに進むと見込まれる。国籍など様々なバックグラウンドを持つ住民が暮らす地域として、多様な人材が活躍できる環境をつくる必要がある。
- 第1次産業から第3次産業までの産業が共存しており、様々な産業の活力と、リニア中央新幹線開業等により活発になる多様な人材の交流を活かし、イノベーションを創出するポテンシャルを発揮していく必要がある。
- 陸・海・空の広域交通の要衝であり、今後、国内外から大きな集客が見込まれる施設の開業やイベントの開催が予定され、さらに、リニア中央新幹線開業により名古屋駅を起点とした2時間圏人口が国内最大規模となると見込まれている。その効果を地域内はもとより、大都市圏全体に波及させていくことが求められる。
- 日本最大の海拔ゼロメートル地帯など、地域特性を踏まえ、激甚化する風水害や南海トラフ地震への対策が求められる。また、大都市地域でありながら豊かな自然環境を有し、それらの保全・回復を進めていく必要がある。



めざすべき将来像

**多様な産業・人材の活発な交流を活かし、
スーパー・メガリージョンのセンターを担う
大都市圏の中核となる地域**

尾張地域は、地域の多様な産業や人材と、国内外との活発な交流により生み出される活力を、中京大都市圏全体に波及させる役割が求められる。また、リニア中央新幹線全線開業後には、スーパー・メガリージョンのセンターを担う大都市圏の中核となることをめざす。

地域づくりの方向性

- ① 多様な人材が活躍できる暮らしやすい地域
- ② 幅広い産業に活力があり、垣根を越えてイノベーションを創出する地域
- ③ 多様な人材・産業・地域がつながり、交流する地域
- ④ 災害に強く、自然と調和した地域

西三河地域

地域の特徴と将来展望

- 県全体の約2割の人々が暮らす地域で、2040年頃までは人口規模と、比較的若い人口構造を維持すると見込まれている。男性人口に比べて女性人口が少ないという特徴があり、性別等に関わらず全員が活躍できる環境づくりを進める必要がある。
- 本県の製造品出荷額等の5割以上を稼ぎ出す、モノづくり愛知を牽引する地域である。基幹産業の自動車産業は、大きな変革期を迎えており、産業の活力の維持・発展のためには、最先端技術の研究開発や次世代産業の育成などが必要である。
- 広域幹線道路ネットワークの整備が進んできており、東海道新幹線の三河安城駅や、物流・生産活動を支える工業港である衣浦港を擁している。産業集積地として、活発な産業活動等を支えるとともに、リニア中央新幹線の開業効果を地域に波及させていくため、広域交通基盤を充実していく必要がある。
- 激甚化する風水害や南海トラフ地震の発生に備え、山間地域から沿岸部までの地域特性を踏まえた防災対策が求められる。また、矢作川を軸として南北に広がる豊かな自然環境を有し、こうした自然環境の保全・回復を進めていく必要がある。



めざすべき将来像

自動車産業を中心とする産業の活力を地域経済や暮らしの豊かさに波及させながら、愛知の発展を牽引する地域

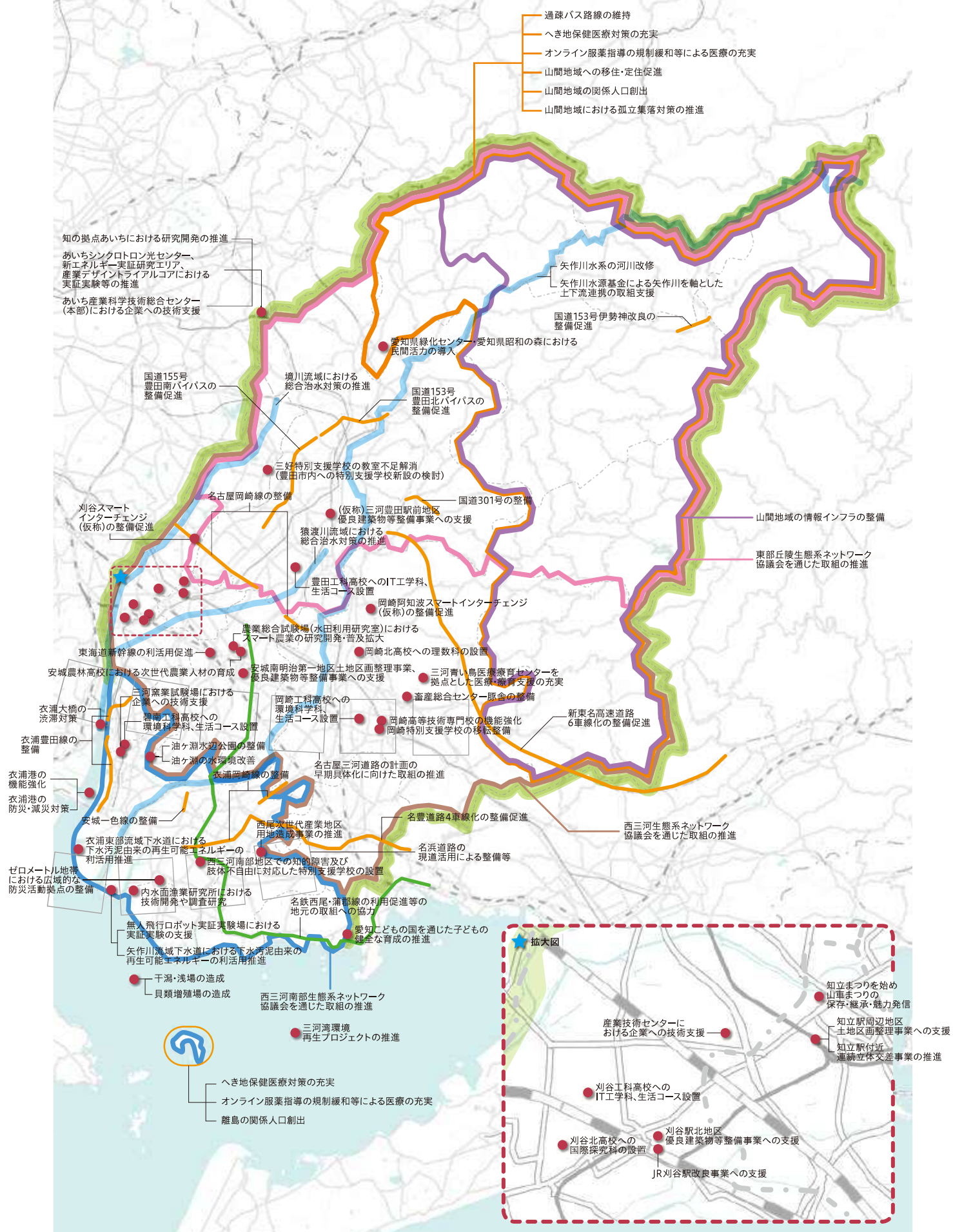
西三河地域は、100年に一度の大変革を遂げる自動車産業を始め、あらゆる産業の活力があふれる豊かな地域であり続けることが求められる。さらに、その産業の活力により、愛知の発展を牽引する地域となることをめざす。

地域づくりの方向性

- ① 性別等に関わらず全員が活躍できる暮らしやすい地域
- ② 基幹産業である自動車産業を始め、産業で世界をリードする地域
- ③ 広域交通ネットワークに支えられ、全国・世界との交流が活発な地域
- ④ 災害に強く、自然と調和した地域

主な政策 | 西三河地域

VI 地域別の取組方向



(地理院地図Vectorを加工して作成)

東三河地域

地域の特徴と将来展望

- 県全体の約1割の人々が暮らす地域で、今後、地域全体で人口減少・高齢化が進むものと見込まれている。将来にわたり地域の活力を維持し、高めていくため、暮らしやすいまちづくり等はもとより、交流人口・関係人口の拡大に取り組む必要がある。
- 農商工のバランスのとれた産業構造で、製造品出荷額等や農業産出額は、全国的にも有数の規模を誇る。地域産業の発展に向け、新技術の導入による生産性の向上や、イノベーションの創出、将来を担う人材の育成・確保に取り組む必要がある。
- 広域幹線道路ネットワークの整備が進んできており、東海道新幹線の豊橋駅、貿易の重要な拠点である三河港といった、国内外との交流基盤を擁している。遠州や南信州との交流の要となる中京大都市圏の東の拠点としての立地特性を活かしながら、地域外との交流を活発化する必要がある。
- 激甚化する風水害や南海トラフ地震の発生に備え、山間地域から半島地域までの地域特性を踏まえた防災対策が求められる。また、地域の豊かな自然環境が、観光資源としても期待されており、自然環境の保全・回復を進めていく必要がある。



めざすべき将来像

自然・文化に彩られた中で、快適な暮らしと創造性ある産業が営まれている、誰もが訪れたい・暮らしたい地域

東三河地域は、豊かな自然や特色ある文化を始めとする地域独自の魅力を発揮し、地域外の関係人口を拡大しながら、地域の活力を持続的に高めていくことが求められる。さらには、快適な暮らしや創造性ある産業と相まって、人を惹きつける地域となることをめざす。

地域づくりの方向性

- ① 快適な暮らしを営む住民と、地域外人材との交流で活力あふれる地域
- ② 新しい技術を次々と取り入れながら、産業が発展していく地域
- ③ 中京大都市圏「東の拠点」として、全国・世界とつながる魅力的な地域
- ④ 災害に強く、自然と調和した地域

